

## 住職の写真日記より【令和3年1月】

コロナのため夜中の年越し行事の中止で、少し寂しい思いの中新年を迎えました。年明け早々葬儀が5件も入り、バタバタしたスタートでした。いまのところですが、雪も少なくて助かりますが、冷え込みは厳しいですね。今年1年、何卒よろしくお願いいたします。



1日 我が家のおせち

年々、量が減っていますが、お酒のつまみにはピッタリなので私は大好きです。

2日 今年もお年始に

いつもは子供さん、お孫さんと大勢で来て下さるのですが、今年はコロナでご夫婦のみ。

4日 上手に作りますね

凝った年賀状をいただきました。ご家族がまるで人形のように写っていました。



5日 久しぶりの帰省

京都在住の息子は約2週間帰省してました。のんびりと過ごしていたようです。ばあさんと一緒に。



8日 二十歳の記念に

今年、成人式の息子の記念に法話会で配布しました。楽しみにしていた成人式はコロナにより延期に。残念



13日 大量の雪で

冷え込みが厳しく、屋根の残っていた雪は氷になって落下し、スロープフードが壊れてしまいました。しばらく閉鎖です。



16日 御正忌法要にて

今年も明善寺住職のご法話。東井先生の言葉を中心に、分かりやすく聞かせていただきました。



21日 親戚からプロ野球選手

本山の新聞に。白老の親戚寺院の甥っくさんが西武ライオンズドラフト4位指名でめでたく入団。活躍期待しています。



24日 孫からプレゼント

東京にいる娘から、前坊守に膝掛けが贈られてきました。寒がりの母なので、とても喜んで毎日使っているようです。

## 坊守の独り言

お寺の2月はお誕生日ラッシュ。

4日住職（昭和38年生）7日住職の妹さん（昭和43年生）9日行武法務員（昭和51年生）です。

住職は58歳を迎えます。58歳は節目の年齢。父である前住職が58歳の時、息子である住職は30歳でした。

現在に置き換えると、息子はまだ20歳です。なので学費のためにも、あと5年は住職に頑張ってもらわなくてははいけません。

前住職は58歳で病気を発症し、59歳で息子の結婚を見届け、半年後にお浄土へとお還りになりました。当時、お寺の新築事業が本格的に動き出す前で、仮設計図を入院先で確認したのが最後の仕事となりました。30歳そこそこの息子が、総代・役員さんを中心に、ご門徒と大きな事業を成し遂げることに期待と不安を感じたことでしょう。

新築したお寺も24年が経ち、息子である住職も58歳になりました。前住職はどんな言葉をかけてくれるのかと考える今日この頃です。